

# いわき農林ニュース

(ごちそう ふくしま絆づくり運動ニュース)



6月号 発行 平成23年7月1日



## 「いわきの農産物の出荷・摂取制限」は解除されています。

6月8日(水)までに、いわき地方の農産物の出荷・摂取制限が、すべて解除されています。

福島県では、モニタリング調査の結果に基づき、国の原子力災害対策本部長からの指示による、農産物の出荷・摂取制限があった場合、その情報を県民や関係機関、生産者へ、広くお知らせしています。

出荷・摂取制限された農産物については、継続して放射線量を測定し、暫定規制値(放射性ヨウ素 2,000Bq/kg、放射性セシウム 500Bq/kg)を3回連続で下回ったことが確認された場合は解除されます。

今後出荷される農産物等についても、定期的にモニタリング調査を行い、放射線量を測定し、消費者の皆様へ安全な農産物を提供していくこととしています。

### いわき地方における農産物の出荷・摂取制限及び解除日一覧表

平成 23 年 6 月 30 日現在

区分	品目	出荷制限	摂取制限	解除日
非結球性葉菜類	ハウレンソウ、カキナ	H23.3.21		H23.5.4
その他	コマツナ、アブラナ等	H23.3.23		H23.5.4
結球性葉菜類	キャベツ、はくさい、結球レタス等	H23.3.23		H23.5.4
アブラナ科花蕾類	ブロッコリー、カリフラワー、等	H23.3.23		H23.5.4
カブ		H23.3.23	—	H23.5.4
原木しいたけ(露地)		H23.4.13	—	H23.4.25
たけのこ		H23.5.9	—	H23.6.8



## 「がんばろう ふくしま！」地産地消運動を実施

「がんばろう ふくしま! 運動」とは、福島第一原子力発電所事故に対し、流通・販売関係者及び消費関係団体の力を結集して地産地消運動を展開し、県民に本県産野菜の安全・安心を広くPRするとともに風評被害の防止に努めることを目的として、平成23年4月1日から県下一斉に開始され、県民一丸となって復興に取り組む運動のことです。



(余震多発地区でありながら、通常営業を再開した「三和町ふれあい市場」の様子)

4月上旬には第1弾、第2弾として、小売店(主にスーパーマーケット。いわきではマルト、イオン)に設置された特設販売コーナーにおいて、農産物をPRするとともにチラシを配布しました。



(津波による大きな被害から復興しようとする「道の駅よつくら港」の様子)

4月28～5月1日の第3弾、「県下一斉直売所フェア」の取組において、いわき地方では26箇所の直売所が参加して開催されました。この中には、大震災の津波により浸水、損壊があった大久や平藤間の直売所も含まれています。

また、フェアには間に合わなかったものの、連休明けに営業を再開しようとする直売所の声も聞かれ、困難な状況から立ち上がろうとする姿勢に力強さを感じました。



（「道の駅よつくら港」は、当分の間、土日のみ営業しています。）

#### ◎「がんばろう ふくしま！」応援店の登録数について

「がんばろう ふくしま！」応援店とは、県産農林水産物等を継続して積極的に販売（又は食材として活用）しようとする販売・飲食店、流通・加工事業者の届出により登録される制度です。

応援店の登録数は、県内外で1,244店舗（平成23年6月15日現在 内いわき地方では、192店舗登録）となっています。

県では、「がんばろう ふくしま！」応援店の1,000店突破を記念して、「総額100万円プレゼント」応援店フェアを実施しており、お買い上げ5,000円を1口としてどなたでも応募できますのでどうぞふるってご応募願います。

詳しくは、別紙（5～7ページ）をご覧ください。

- ※いわき地方の主な登録店
- マルト各店（株式会社マルト商事）
- ヨークベニマル各店
- イオンいわき店



## 「水稻塩害対策説明会」を開催

4月22日（金）、JAいわき市大浦支店において、水稻塩害対策説明会を開催しました。

説明会には、3月11日の東日本大震災で大津波により塩害を被った四倉町大浦地区の水田を所有する農業者、約30名が参加し、いわき農林事務所農業振興普及部長が、水稻作付け前及び作付け時の塩害対策と今後の水田管理に関する説明を行いました。



（水稻塩害対策説明会の様子 その1）

参加者は、塩害対策等の説明に熱心に聞き入り、説明後の質疑応答では、津波により水田に流入したがれき等の除去と塩害対策に関する国の事業実施の要望が寄せられました。



（水稻塩害対策説明会の様子 その2）

水稻塩害対策説明会は、このほか27日、28日にJAいわき市菊田支店、夏井支店においても開催し、両支店管内の農業者が参加しました。

今後もいわき農林事務所では、従前から実施してきた、「水稻あぜ道講習会」等を通じて、塩害を被った水田における安定した水稻栽培に向けた指導を行っていきたくとしています。



## 「創立53周年記念市」 が開催されました。

4月28日（木）、いわき市内郷綴町の株式会社平木材市場において創立53周年記念式典及び記念市が開催されました。

記念式典では、木材関係者約50名が出席し、平木材市場の齋藤公男社長より大震災からの復旧、復興に向け木材資材の安定供給に取り組んでいくとの主催者あいさつが行われました。

続いて高梨いわき農林事務所長から、同市場の長年にわたる県産木材の円滑な供給に対する感謝の意とともに、県としても治山・災害復旧事業等を活用した林業生産基盤の復旧に取り組み、林業・木材産業の大震災からの復興に努めていくとのあいさつを述べました。

記念市では、入荷量が2,300m<sup>3</sup>と、大震災の影響を受け例年に比べて少なくなりましたが、威勢の良いかけ声とともに活発な取引が行われ、スギ3mの柱材は、1m<sup>3</sup>当たり13,000円、3.65～4mの中目材（丸太の径20～30cmの木材）は14,000円前後の高値で取引されました。



（株平木材市場の53周年記念市の様子）



## 「四倉花卉園芸組合」 総会が開催されました。

5月6日（金）、四倉町戸田構造改善センターにおいて、戸田地区の生産者で組織される、四倉花卉（かき）園芸組合総会が開催されました。

この総会は、当初3月下旬に開催され

る予定でしたが、東日本大震災等の影響により延期され、この時期の開催となったものです。

戸田地区では、地震による大きな被害はありませんでしたが、その後の福島第一原子力発電所事故によるほ場作業の一時制限等により、結果として、8月咲きの作付面積が減少することとなってしまいました。

総会では、平成22年度の事業報告や平成23年度の事業計画等について協議しましたが、出席した組合員からは、農作物に対する放射性物質の影響や、「作付けしたキクが売れるのか心配」、といった不安の声が多く聞かれました。



（定植作業が始まったキクのほ場の様子）

いわき農林事務所農業普及指導員からは、例年になく高温で推移した平成22年度のキクの生育状況や、害虫オオタバコガによる大きな被害の反省に基づいた防除暦の変更などについて説明を行いました。

そのほか、JA担当者からは、地元の市場関係者から今年も例年どおりの出荷量が期待されている状況などについて説明が行われ、今年も組合員全員で、前向きに取り組んでいくことを確認しました。



## 「田んぼの学校」開校式 を開催

5月6日（金）、いわき市立夏井小学校と連携した、「田んぼの学校」開校式を開催しました。

「田んぼの学校」とは、『「ふくしまの農育」推進事業』の一環として、一年間を

通して水稻の作付けから収穫までを体験する環境教育事業で、主に5年生児童15名を対象に実施していきます。

今年度の「田んぼの学校」は、東日本大震災や原発事故による影響により、実施について難しい判断となりましたが、子どもたちの安全を考慮した上で、できる範囲で実施していくこととしました。

始めに開校式を行い、田んぼの学校の校長先生をはじめとする、地元協力農家やPTAの方々などからなる、「田んぼの学校応援団」と5年生児童たちとの顔合わせを行い、一年間の活動を紹介して、田んぼの学校がスタートしました。



(田んぼの学校 種まきの様子)

次に、今年度最初の作業として、児童一人ひとりに1ケースずつの苗箱が渡され、地元農家の指導を受けながら、立派な苗に育つようお願いながら、丁寧に種まきを行いました。

その後児童たちは学習田に移動し、ぼかし肥まきを行いました。初めはどのようにしたらよいか加減が分からず、作業は無我夢中でしたが、慣れるにつれて児童たちは手際よく、100kgほどあった肥料をあっという間にまき終わりました。



(田んぼの学校 ぼかし肥まきの様子)

中には、何度もぼかし肥を「おかわり」する児童もたくさんいて、田んぼの仕事に対する意欲が感じられる活動となりました。



## 「水稻栽培講習会」 が開催されました。

5月25日(水)、JAいわき市本店において、いわき市農業協同組合による営農指導員を対象にした水稻栽培講習会が開催されました。

今年度の水稻の生育状況は、東京電力福島第一原子力発電所事故の影響により、播種及び育苗時期が遅れ、4月下旬以降の高温・日照不足により苗の草丈が平年より徒長(葉や茎が、ひよろひよろと伸びること。)気味で推移しました。田植え時期は平年より10日程度遅れましたが、苗の活着(移植した苗が根着いて生長すること。)状況は、一部を除いて良好です。



(水稻栽培講習会の様子)

講習会では、いわき農林事務所農業普及指導員から、今後の水管理及び雑草や病害虫の適期防除の重要性について説明しました。

また、3月11日の東日本大震災での大津波による塩害や液状化現象被害を受けた水田に対する今後の栽培管理、放射性物質対策についての説明を行いました。

参加した営農指導員の皆さんは、今後の組合員の方々に対する栽培管理指導に向けて、熱心に聞き入っていました。

加えて、6月21日(火)には、穂肥施用及びカメムシ防除等、引き続き放射性物質対策に関する講習会を開催しました。

# 「がんばろう ふくしま！」応援店1000店突破 「総額100万円プレゼント」応援 店フェア

福島県産の農林水産物や加工品を積極的に販売・使用し、福島を応援してくれている「がんばろう ふくしま！」応援店。

4月から募集を開始した「がんばろう ふくしま！」応援店が、1000店を超えました！これを記念して、「総額100万円プレゼント」応援店フェアを実施します！！

## 応募要領

### ○ 賞品内容

特賞	高級温泉旅館ペア宿泊券（5万円相当）	5本
1等	ふくしまグルメカタログ商品（5千円相当）	30本
2等	季節の福島産野菜・くだもの詰め合わせ（2千円相当）	50本
3等	がんばろう ふくしま！エコバッグ	500本

### ○ 応募方法

「がんばろう ふくしま！」応援店で福島県産食品や加工品などを購入並びに飲食店などをご利用になったレシートなど（コピー不可）合計5千円分を1口として、封筒に入れ下記のあて先までお送りください。（お一人様何口でもご応募できます。）

（あて先）

〒960-8670（住所記載不要）福島県農産物流通課「応援店フェア事務局」宛

### ○ 応募期間

平成23年6月10日（金）～平成23年7月31日（日）（当日消印有効）

### ○ 当選者発表

厳正な抽選の上、特賞、1等及び2等の当選者は8月中旬頃に福島県ホームページにて発表します。また、3等の当選者は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。賞品発送は、平成23年8月下旬頃を予定しております。

※ 都合により賞品の発送が多少遅れる場合もあります。あらかじめご了承ください。

※ ご当選者の住所、転居先不明・長期不在などにより賞品をお届けできない場合には、当選を無効とさせていただきます。



## お問い合わせ

最寄りの福島県事務所へお問い合わせください。

県北農林事務所 : 024-535-0382

東京事務所 : 03-5212-9050

県中農林事務所 : 024-935-1510

大阪事務所 : 06-6343-1721

県南農林事務所 : 0248-23-1576

北海道事務所 : 011-241-8717

会津農林事務所 : 0242-29-5369

名古屋事務所 : 052-251-0368

南会津農林事務所 : 0241-62-5252

農産物流通課 : 024-521-7354

相双農林事務所 : 0244-26-1153

いわき農林事務所 : 0246-24-6151

主催 福島県 協賛 株式会社東邦銀行



ふくしまの農林水産業を応援していただきありがとうございます！

# 「総額100万円プレゼント」応援店フェア

福島県産の農林水産物や加工品を積極的に販売・使用し、福島を応援してくれている「がんばろう ふくしま！」応援店。

4月から募集を開始した「がんばろう ふくしま！」応援店が、1000店を超えました！これを記念して、「総額100万円プレゼント」応援店フェアを実施します！！

## ◎賞品内容

特賞	高級温泉旅館ペア宿泊券（5万円相当）	5本
1等	ふくしまグルメカタログ商品（5千円相当）	30本
2等	季節の福島産野菜・くだもの詰め合わせ（2千円相当）	50本
3等	がんばろうふくしま！エコバッグ	500本

## ◎応募方法

裏面の応募用紙に、「がんばろう ふくしま！」応援店で福島県産の食品や加工品などを購入並びに飲食店などをご利用になったレシートなど（コピー不可）を応募用紙に貼り、必要事項を記入の上、封筒に入れてお送りください。

合計5,000円分を1口として応募をお願いします。お一人様何口でもご応募できます。

（※ レシートはフェア期間中に購入したものに限りませす。また、衣料品や日用雑貨のみの購入と判断される場合は無効となりますので、あらかじめ御注意ください。）

## ◎応募先

〒960-8670（住所記載不要）福島県 農産物流通課「応援店フェア事務局」宛

## ◎実施期間

平成23年6月10日（金）～平成23年7月31日（日）当日消印有効

## ◎当選者発表

厳正な抽選の上、特賞、1等、2等の当選者は8月中旬頃に福島県ホームページにて発表します。また、3等の当選者は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

賞品発送は、平成23年8月下旬頃を予定しております。

## ◎お問い合わせ

最寄りの福島県事務所へお問い合わせください。

県北農林事務所：024-535-0382 県中農林事務所：024-935-1510 県南農林事務所：0248-23-1576

会津農林事務所：0242-29-5369 南会津農林事務所：0241-62-5252 相双農林事務所：0244-26-1153

いわき農林事務所：0246-24-6151 東京事務所：03-5212-9050 大阪事務所：06-6343-1721

北海道事務所：011-241-8717 名古屋事務所：052-251-0368 農産物流通課：024-521-7354

## ◎注意事項

- ・特賞賞品は福島県内のホテル・旅館の宿泊券です。宿泊地までの交通費は当選者負担となりますので、あらかじめご了承ください。
- ・都合により賞品の発送が多少遅れる場合もあります。あらかじめご了承ください。
- ・ご当選者の住所、転居先不明、長期不在などにより賞品をお届けできない場合、応募内容に記載不備がある場合、または虚偽の記載がある場合には、当選を無効とさせていただきます。
- ・賞品の換金・他の物品への交換はできません。
- ・ご当選の権利は第三者に譲渡・転売することはできません。
- ・ご当選に関するご連絡をさせていただくことはありますが、本フェア事務局より、手数料、租税公課などの振込を求めることは一切ございません。フェア事務局をかたった振込詐欺などには十分お気をつけください。

## ◎個人情報の取扱について

- ・フェアご応募時の個人情報は、抽選、商品の発送、関連するお問い合わせ対応、マーケティング用統計資料作成及び農林水産情報の提供のみに利用し、それ以外の目的には利用いたしません。
- ・フェアご応募時の個人情報は、法令の要請を除き、お客様のご同意なく第三者に開示・提出いたしません。
- ・フェアご応募時の個人情報は、フェア事務局にて厳重に管理いたします。

主催 福島県 協賛 株式会社東邦銀行

# 「総額100万円プレゼント」応援店フェア応募用紙

レシート等貼り付け欄

※剥がれないようしっかりと貼ってください。

フリガナ		年 齢	性 別
氏 名			男・女
住 所	〒 (        -        )		
TEL	(        )        -	応募口数	
主 な ご購入店舗			

※「がんばろう ふくしま！応援店」一覧は、福島県ホームページからご覧いただけます。

[がんばろう ふくしま 応援店](#)

[検索](#)

## いわき農林事務所からのお知らせ

### 退職者

平成 23 年 3 月 31 日付け 松本 久美子 (主査)  
 平成 23 年 5 月 31 日付け 五十嵐 文明 (企画部長)  
 鈴木 俊行 (農村整備部長)

※後進の指導・育成など、大変お世話になりました。

### 転出者

平成 23 年 6 月 1 日付け

氏 名 旧所属・職名 新所属・職名

高梨 公 (所長) 県中農林事務所長

加藤 一三 (次長兼総務部長)

佐藤 一雄 (農業振興普及部副部長)

橘高等学校  
会津農林事務所

事務長  
喜多方農業普及所長  
兼会津農林事務所 農業振興普及部主幹  
農業短期大学校 農学部園芸学科長

東條 浩幸 ( // 経営支援課長)

岡本 和夫 ( // 主査)

野崎 達夫 ( // 主査)

山内 弘巳 (農村整備部農村整備課長)

鈴木 徹 ( // 主任主査)

高橋 厚雄 ( // 主任主査)

佐藤 広太 ( // 主 事)

渡部 茂 (森林林業部副部長)

加藤 正昭 ( // 林業課長)

須田 勝彦 ( // 主任主査)

大竹 城二 ( // 主 査)

内田 守 ( // 主 査)

鈴木 智大 ( // 技 師)

農業総合センター

農業総合センター

農業総合センター

相双農林事務所

農村基盤整備課

県中農林事務所

平商業高等学校

森林整備課

森林整備課

県南農林事務所

県中農林事務所

県北農林事務所

南会津農林事務所

主任研究員

主任研究員

農村整備部 農業基盤整備課長

主任主査

農村整備部 農業基盤整備課主任主査

主事

主幹兼副課長

副課長兼主任主査

森林林業部 主任主査

森林林業部主査〔キャップ〕

主査

技師

※新任地でのご活躍とご健康をご祈念いたします。

### 転入者

平成 23 年 6 月 1 日付け

氏 名 新所属・職名 旧所属・職名

戸井田 和 所 長

富永 龍一 次長兼総務部長

桃井 栄一 企 画 部 長

八島 欣也 地域農林企画課 主査〔キャップ〕

鈴木 俊二 農業振興普及部副部長

桜井 孝 // 経営支援課長

(水田畑作課長)

(遠野高等学校主幹兼事務長)

(森林林業総室 林道整備課主幹兼副課長)

(道路総室主査)

(生産流通総室副課長兼主任主査)

(農業研究センター農業短期大学校

農学部農産学科長)

(県南農林事務所 主査)

(県北農林事務所 主査)

(前 相双農林事務所 双葉農業普及所長)

(相双農林事務所 農村整備部主幹兼副部長)

(監査委員事務局 普通会計監査課主任主査)

(相双農林事務所農村整備部

農村環境整備課主任主査)

(農村整備総室主査)

(いわき建設事務 主査)

(前 いわき農林事務所 農村整備部長)

(会津農林事務所森林林業部 森林土木課長)

(県中農林事務所森林林業部 森林土木課主任主査)

(森林林業総室 主査)

(相双農林事務所 主査)

(会津農林事務所 副主査)

(林業研究センター 副主任研究員)

佐藤 有子 // 主 査

坂本 利彦 // 主 査

永山 文夫 // 専門員

星 恒昭 農村整備部長

渡部 実 // 農村整備課長

齋藤 幸祐 // 農村整備課主任主査

先崎 秋実 // 農村整備課 主査〔キャップ〕

岡 光一 // 主 査

鈴木 俊行 // 専門員

穴澤 厚 森林林業部副部長

長谷川富房 // 林業課長

樋田 和美 // 林業課 主査〔キャップ〕

齋藤 直彦 // 主 査

山河 周 // 副主査

小沼 研二 // 副主査

※ 新体制により職員一丸となって、平成 23 年 3 月 11 日発生の  
「東日本大震災」の災害復興のために！

がんばっぺ “ふくしま!!” がんばっぺよ “いわき!!”

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

**福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課**

〒970-8026 いわき市平字梅本15番地 Tel (0246)24-6152 Fax (0246)24-6196

(県いわき合同庁舎 3階) URL <http://www.pref.fukushima.jp/norin-iwaki/>

E-Mail [iwaki.nourin@pref.fukushima.jp](mailto:iwaki.nourin@pref.fukushima.jp)



iwaki.nourin@pref.fukushima.jp